

枚方市スポーツ推進計画
進行管理報告書
(令和元年度・令和2年度実績)

～令和3年度～

■序文

枚方市では性別や年齢、障害の有無、個人や家族・団体など人数に関係なく、多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりをめざすことを目的に、平成 29 年度から令和 9 年度の 11 年間を計画年度とする「枚方市スポーツ推進計画」を策定し、本計画に関連する事業について、課題の洗い出しなど進行管理を継続して行なっています。

この計画期間中、大規模なスポーツの国際競技大会としては、令和元年 9 月には、アジア初となるラグビーワールドカップ 2019 が開催され、多くの人に感動を与えるとともに、スポーツの価値を再認識することになりました。しかし、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の感染拡大が急速に進んだことから、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会は 1 年後の令和 3 年の夏に延期開催されることとなり、その他のスポーツイベントなどについても中止が相次ぎました。

新型コロナ感染拡大の影響から、本市においても、スポーツ施設の閉鎖や利用自粛要請の呼びかけなどにより、毎年実施されてきたスポーツイベントや教室の多くが中止や延期となりました。

しかし、こうした状況の中でも、施設等での新型コロナ対策を徹底し、無観客開催や入場者数の制限、参加者への検温・消毒の徹底やオンラインや動画など ICT 技術を活用したイベントの開催など、新しいスタイルでの活動が進められるようになってきています。

◎枚方市スポーツ推進計画について

■基本理念

「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、
スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」

■推進期間

平成 29 年度から平成 39 年度までの 11 年間

【参考】

第 2 期スポーツ基本計画（国） 平成 29（2017）年 4 月から令和 4（2022）年 3 月

第 2 次大阪府スポーツ推進計画（府） 平成 29（2017）年 4 月から令和 4（2022）年 3 月

■目標指標

指 標	現状 (基準値)	平成 39 年度末 (令和 9 年度末) までに
週 1 日以上スポーツに取り組む成人の割合	38%	65%程度
週 3 日以上スポーツに取り組む成人の割合	17%	30%程度

※基準値は「平成 28 年度 枚方市運動やスポーツに関するアンケート調査」の結果に基づく

◎新型コロナのスポーツ関連事業への影響

■事業の中止状況

《令和元年度》 総事業数 219 件のうち、3 件（中止割合 約 1%）

《令和2年度》 総事業数 219 件のうち、68 件（中止割合 約 31%）

■新しい生活様式を踏まえた主な取り組み

〈教室・講座・イベント等〉

- ・各上位競技団体が公表するガイドラインを遵守しながら実施
- ・実施会場を広い部屋又は屋外にて開催し、人同士の間隔を空け、距離を取る
- ・複数回に分け、人数を減らして開催
- ・開催場所までの乗り合いバス等を避け、現地集合に変更
- ・オンライン参加と現地参加を併用したイベントの実施
- ・講座の内容を DVD やオンラインで配信

〈各スポーツ施設〉

- ・施設利用者にコロナ対策のチェックリストの記入を義務付け
- ・大阪コロナ追跡システムの導入、施設の出入り口に QR コードを設置
- ・スポーツ時のサイレントプレーを推奨
- ・トレーニング器具の消毒の徹底

◎枚方市スポーツ推進計画 進行管理報告書について

進行管理報告書は、本計画で示した基本理念に基づき、庁内各所管部門が進めている計画関連事業における進捗とその内容について、各所管部門から現在の状況について報告を受け、計画を担当する部署（スポーツ振興課）が本計画の取組課題に沿って、集約を行なったものです。

枚方市スポーツ推進計画の推進における進行管理は、毎年、進行管理報告書の内容について庁内委員会にて協議されたのち、枚方市スポーツ推進審議会に助言を受けながら進行管理を行なっています。

しかしながら、昨年度は新型コロナの影響で実施できなかったため、今回は2ヶ年分の報告書となっています。

◎進行管理報告書について

本計画に定められている「4つの取組課題」ごとに設定された各事業の進捗状況について集計し、グラフ化しています。その主な事業の内容と、その課題に対する取り巻く現状を記載しています。

- 取組課題1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進
- 取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実
- 取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実
- 取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

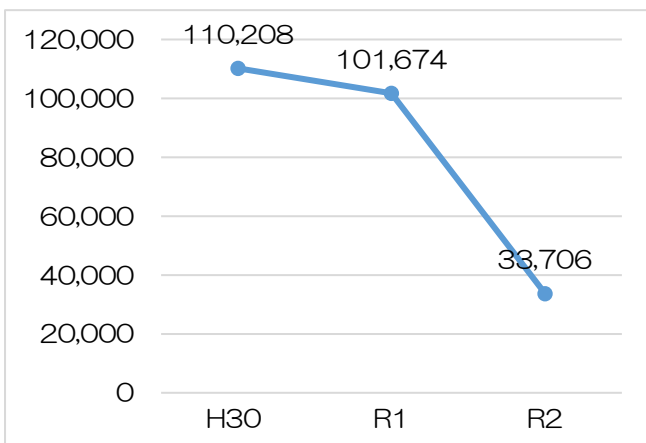
取組課題	施策の方向	具体的施策（施策の基本目標）
1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進	(1) スポーツに気軽に親しめる環境づくり	①市民のスポーツ活動の促進
		②勤労世代や子育て世代の身近なところでのスポーツ実践への支援
		③若年層の自由な身体活動の促進
		④スポーツに関する情報発信
	(2) スポーツを通じた健康づくり	①スポーツを通じた成人の健康増進の推進
		②スポーツを通じた介護予防活動の推進
③地域でのスポーツ・レクリエーション活動の充実		
2. 子どものスポーツ活動の充実	(3) 子どもがスポーツを楽しむための条件整備	①家族等で楽しむスポーツ活動の充実
		②子どもを対象としたスポーツ活動の充実
		③幼稚園・保育所（園）、認定こども園、小・中学校等における体力向上の取組の推進
		④野外活動センターにおける青少年の健全育成
		⑤学校部活動の充実
3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実	(4) 地域スポーツの充実	地域住民が主体的に参加・参画するスポーツイベントの機会を充実し、地域の自発的な活動の促進や地域の一体感や活力の醸成を促す
	(5) 障害者のスポーツの促進	①障害者スポーツ活動への支援の充実
		②障害者のスポーツ・レクリエーション活動の充実
	(6) スポーツ資源の充実と活用	①スポーツ施設の整備・充実
		②効率的なスポーツ施設の運営と利便性の向上
		③学校体育施設の開放
④公園緑地の利活用の促進		
4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化	(7) 各種競技スポーツのレベルアップ	①ジュニア期からの育成支援
		②指導者の確保・育成及び活動支援
		③スポーツボランティアの育成と活用
		④総合型地域スポーツクラブへの支援
	(8) プロスポーツとの交流促進	トップレベルの選手のプレーを間近に見たり、選手との交流を促進したりする機会の提供

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

《施策の方向》

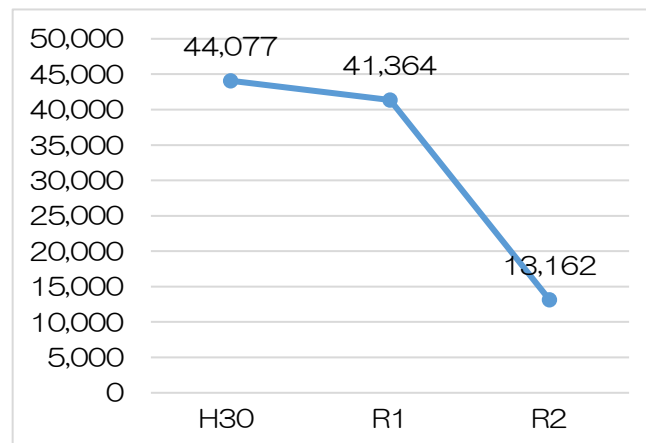
(1) スポーツに気軽に親しめる環境づくり

○参加者数推移(延べ数)



(2) スポーツを通じた健康づくり

○参加者数推移(延べ数)



合計 107 件 (再掲含む)

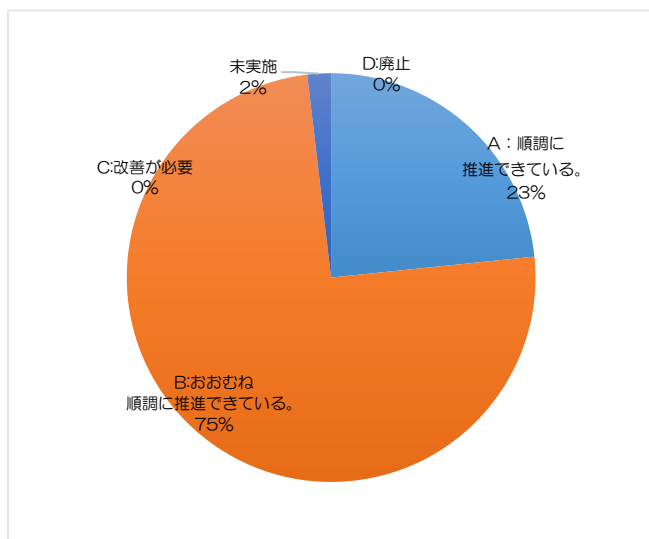
令和元年度

A.順調に推進 25 件、B.概ね順調 80 件、C.改善が必要 0 件、D.廃止 0 件、未実施 2 件

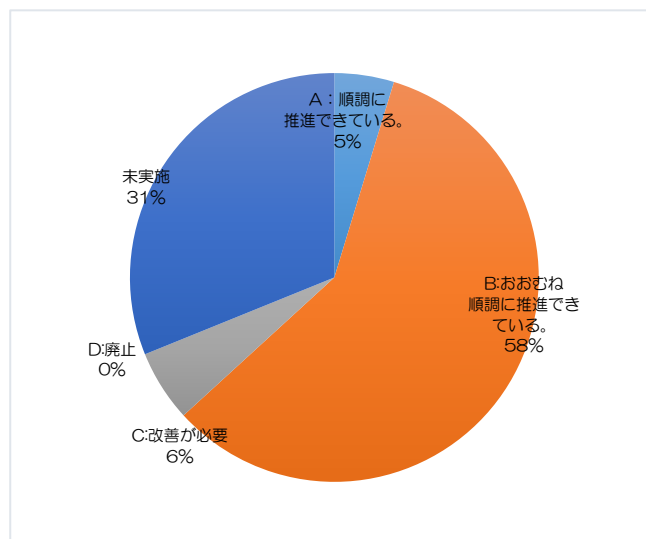
令和2年度

A.順調に推進 5 件、B.概ね順調 62 件、C.改善が必要 7 件、D.廃止 0 件、未実施 33 件

令和元年度



令和2年度



【 主な事業内容 】

『A.順調』『B.概ね順調』(令和元年度 105件、令和2年度 67件)

- ・ひらかたラグビーカーニバル
- ・ラジオ体操 など
- ・新春走ろうかい ひらかたハーフマラソン

『C.改善が必要』(令和元年度 0件、令和2年度 7件)

- ・健康講座
- ・ボディバランスチェック体験
- ・ふみんネット北河内ブロック など

『未実施』（令和元年度 2件、令和2年度 33件）	
・市民スポーツカーニバル	・介護、福祉、健康講座水泳教室（小学生、一般、中、高齢者）
・ふれあいスポーツ交流会	
・里山ウォーキング など	・ライフ・チャレンジザ・ウォーク

※『D.廃止』とされた事業はなし

◆取組課題1.まとめ

『順調または概ね順調に推進できている』とされた事業の内、「ひらかたラグビーカーニバル」や「新春走ろうかい」では、オンラインでも参加できるイベントとするなど、これまでにない新しい手法を取り入れ実施しました。

『改善が必要』とされた「健康講座」などの事業では、新型コロナ対策のため大人数を避け、少人数のグループ分けによる実施には多くの人員が必要となり、運営側の負担増のために事業実施が困難となるなどの課題が挙げられています。

『未実施』とされた事業では、「ライフ・チャレンジザ・ウォーク」など、不特定多数の参加者が集まる事業や、感染症リスクの高い高齢者や障害者を対象とした「介護・福祉・健康講座」や「ふれあいスポーツ交流会」、また、水泳などマスク着用による新型コロナ対策を行うことが困難な事業などが中止となっています。

【取組課題1.今後の取組方針（『改善・見直し』、『廃止』とされた事業）】

令和元年度	令和2年度
—	<ul style="list-style-type: none"> ・健康講座（改善・見直し） ・ボディバランスチェック体験（改善・見直し） ・ふみんネット 北河内ブロック（改善・見直し） ・広報媒体を通じた情報発信（改善・見直し）

●「健康講座」「ボディバランスチェック体験」においては、新型コロナ対策の他、重複する事業の統廃合やニーズ把握による講座内容を見直すとともに、ひらかたポイントを活用し、健康づくりの後押しを図るなど、さらなる事業充実に向けた取り組みを推進する予定です。

【取組課題1.に関する取り巻く状況】

スポーツ庁の資料では、運動不足が原因で毎年5万人が死亡していると示されています。適度な運動・スポーツを習慣化させることにより、健康寿命の延伸に寄与し、運動不足を原因とする死亡者数を減少させることが可能となることなどから、スポーツを習慣化するための取り組みの必要性が高まっています。

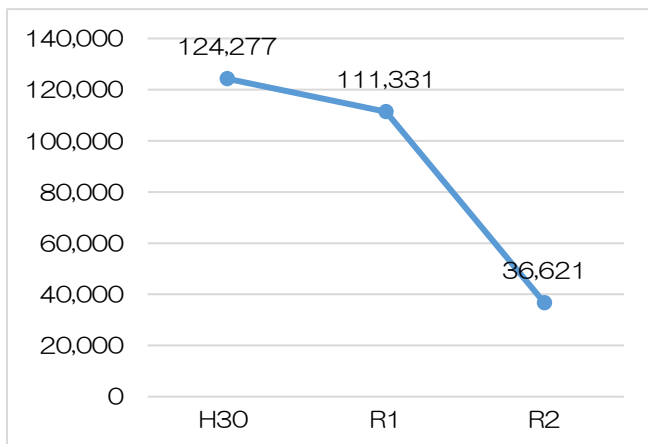
また、東京2020オリンピック競技大会では、スケートボードやクライミングが正式競技となり、2024年のパリ大会ではブレイクダンス（競技名：ブレイキン）が新たに加わる予定です。このように、アーバンスポーツと呼ばれる分野が若年層を中心に人気となっています。

取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実

《施策の方向》

(3) 子どもがスポーツを楽しむための条件整備

○参加者数推移(延べ数)



合計39件(再掲含む)

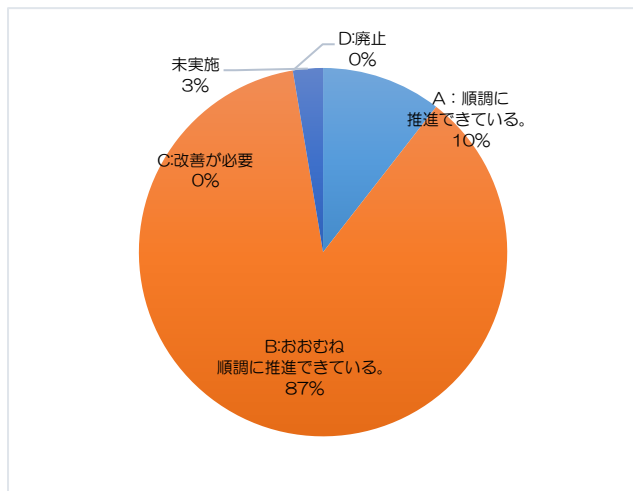
令和元年度

A.順調に推進 4件、B.概ね順調 34件、C.改善が必要 0件、D.廃止 0件、未実施 1件

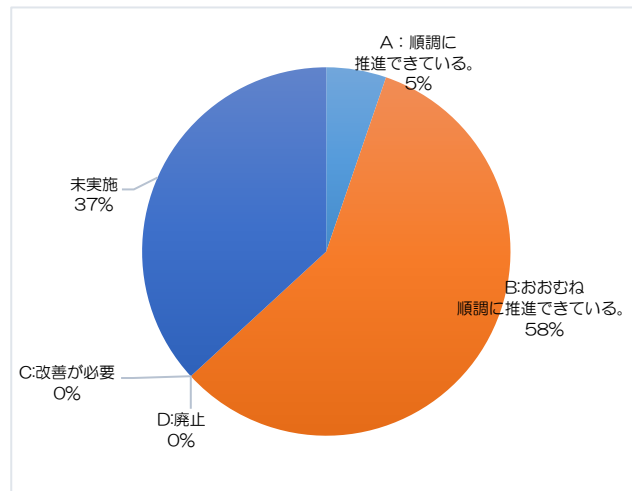
令和2年度

A.順調に推進 2件、B.概ね順調 23件、C.改善が必要 0件、D.廃止 0件、未実施 14件

令和元年度



令和2年度



【主な事業内容】

『A.順調』『B.概ね順調』(令和元年度 38件、令和2年度 25件)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ・枚方子どもいきいき広場事業 | ・各学校の体力向上推進計画に基づく体力向上 |
| ・枚方市自然学校かわせみ自然塾 | ・FCティアモによるサッカー教室 など |

『未実施』(令和元年度 1件、令和2年度 14件)

- | | |
|------------|----------|
| ・小学生陸上競技大会 | ・小学校水泳教室 |
| ・小学生駅伝競走大会 | など |

※ 『C.改善が必要』、『D.廃止』とされた事業はなし

◆取組課題2.まとめ

『順調または概ね順調に推進できている』とされた事業では、「枚方子どもいきいき広場事業」や、「枚方市自然学校かわせみ自然塾」などがあります。これらの多くは年間を通じて開催している事業であり、新型コロナウイルスの影響から回数は減っているものの、感染症対策を行いながら実施できています。

『未実施』とされた事業では、「小学生陸上競技大会」や「小学生駅伝競走大会」などが中止となっています。学校部活動の自粛期間も重なり、子どものスポーツ機会の減少が成長期に与える影響について懸念されています。

【取組課題2.今後の取組方針（『改善・見直し』、『廃止』とされた事業）】

令和元年度	令和2年度
—	・学校キャンプ支援事業（改善・見直し）

●「学校キャンプ支援事業」については、これまで概ね順調に推進できている事業ではありますが、野外活動センターの活性化に伴い、今後は利用者に対しニーズ調査を行いながら、さらなる改善を目指しています。

【取組課題2. に関する取り巻く状況】

近年では、モルックなど子どもも大人も一緒に楽しむことができるスポーツ・レクリエーションの活動が活発化しており、本市においては、スポーツ推進委員による様々な種目を体験できるイベントの開催など、子どもがスポーツ・レクリエーションに触れるきっかけ作りを積極的に行なっています。

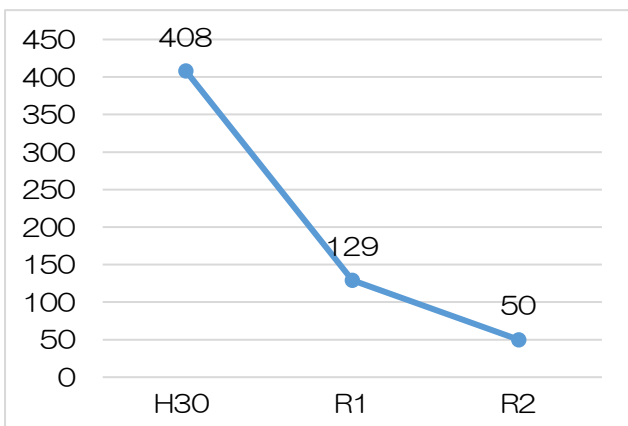
その他、国において、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革として、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現することを目指しています。その具体的な方策として、休日部活動の段階的な地域移行や、合理的で効率的な部活動の推進について検討が進められています。

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

《施策の方向》

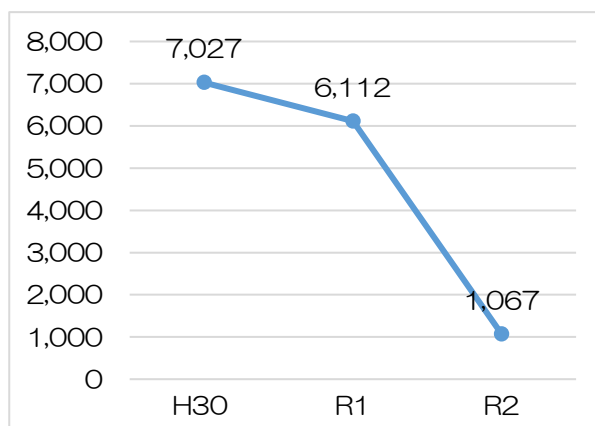
(4) 地域スポーツの充実

○参加者数推移(延べ数)



(5) 障害者スポーツの促進

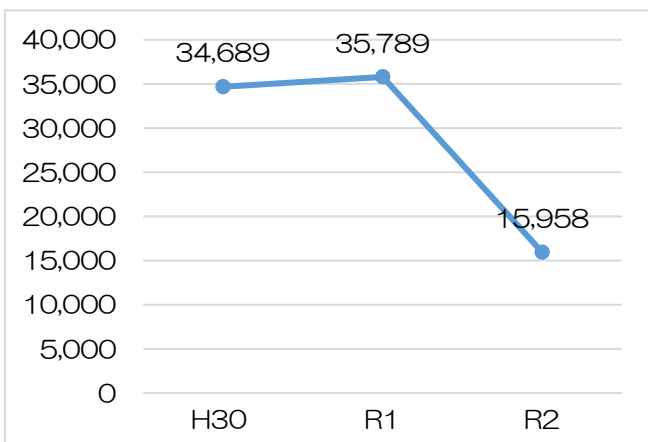
○参加者数推移(延べ数)



※「スポーツの日」オリンピック・パラリンピック関連事業を実施予定であったため、「市民スポーツカーニバル」が未実施となり H30 と比べて R1 は参加者数が大幅に減少している。

(6) スポーツ資源の充実と活用

○参加者数推移(延べ数)



※「市立学校園施設開放事業」及び「市立小学校体育施設開放事業」について、R2 に所管部署が変更となり、参加者数の算出方法が変わり、数字が大幅に増加となったため、上記データより除いている。

合計 46 件(再掲含む)

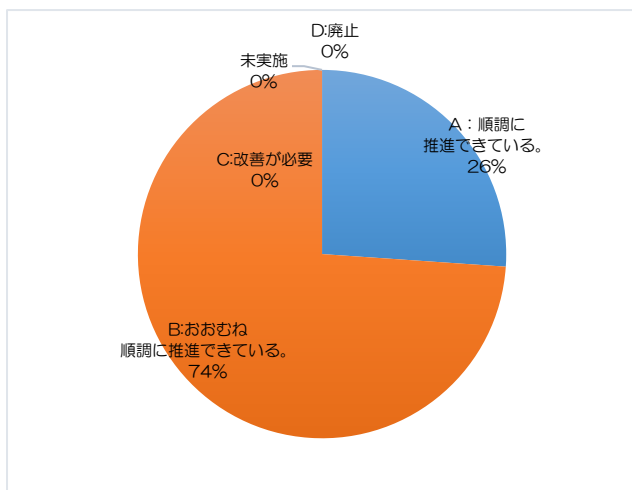
令和元年度

A.順調に推進 12 件、B.概ね順調 34 件、C.改善が必要 0 件、D.廃止 0 件、未実施 0 件

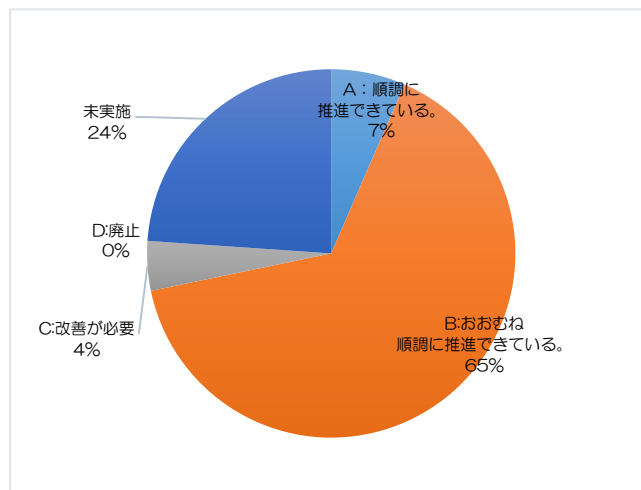
令和2年度

A.順調に推進 3 件、B.概ね順調 30 件、C.改善が必要 2 件、D.廃止 0 件、未実施 11 件

令和元年度



令和2年度



【 主な事業内容 】

『A.順調』『B.概ね順調』（令和元年度 46件、令和2年度 33件）
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツプログラム提供事業（伊加賀スポーツセンター指定管理事業） ・枚方市総合福祉センター維持管理事業（講座開催業務） ・スポーツプログラム提供事業（渚市民体育館指定管理事業） など
『C.改善が必要』（令和元年度 0件、令和2年度 2件）
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員関係事務 ・企画展関連フィールドワーク(市立枚方宿鍵屋資料館指定管理事業)
『未実施』（令和元年度 0件、令和2年度 11件）
<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉会館維持管理事業（水泳教室開催業務） ・トリプルバドミントン交流会 ・交通手段の支援 など

※ 『D.廃止』 とされた事業はなし

◆取組課題3. まとめ

『順調または概ね順調に推進できている』とされた事業では、各スポーツ施設の指定管理者が実施する「スポーツプログラム提供事業」があり、幼児からシニアまで各世代を広く対象としたスポーツ教室や、様々なスポーツの体験会などについて、新型コロナの影響で回数の減少はあったものの概ね順調に実施できています。

『改善が必要』とされた事業では、「スポーツ推進委員関係事務」において、新型コロナの影響で予定していたイベントなどの活動の停止が課題となっていました。研修の参加等により推進委員の資質向上を図るなど、アフターコロナに向けた取り組みを実施しました。

『未実施』とされた事業では、障害者水泳教室や車いすテニス教室、「トリプルバドミントン交流会」などの障害者を対象とした事業が挙げられます。これらの事業は、今回は新型コロナの影響で中止となりましたが、例年一定の参加者が見込まれるニーズの高い事業であり、今後、内容を工夫して開催の再開を予定しています。

【 取組課題3.今後の取組方針（『改善・見直し』、『廃止』とされた事業）】

令和元年度	令和2年度
—	・都市公園有料施設管理事業（改善・見直し） ・市立学校園施設開放事業（改善・見直し）

●「都市公園有料施設管理事業」では、現在、王仁公園における今後の運営方法について再検討が行われています。また、「市立学校園施設開放事業」については、運動広場と教室の開放方法について整合を図るなど、今後の事業内容について精査が進められる予定です。

【 取組課題3. に関する取り巻く状況 】

東京 2020 パラリンピック競技大会での盛り上がりに伴い、スポーツの推進を通じた共生社会の重要性が再確認されるなか、障害の有無、年代、性別等に関わらず、誰もが一緒に楽しむことができる「ポッチャ」などのユニバーサルスポーツが注目されています。

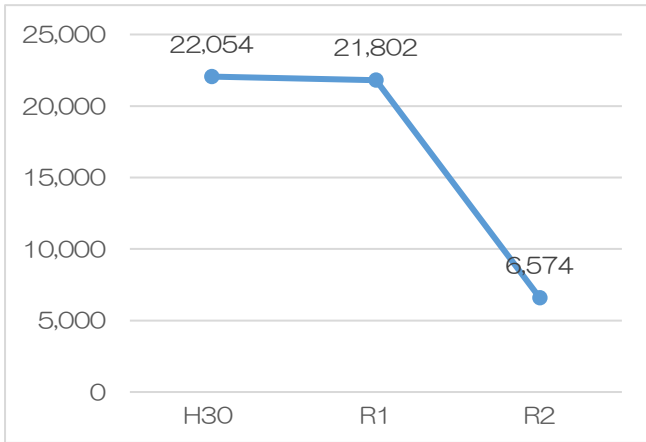
また、市民のスポーツニーズの増加や多様化などに対応した活動の場の確保が課題となっています。

取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

《施策の方向》

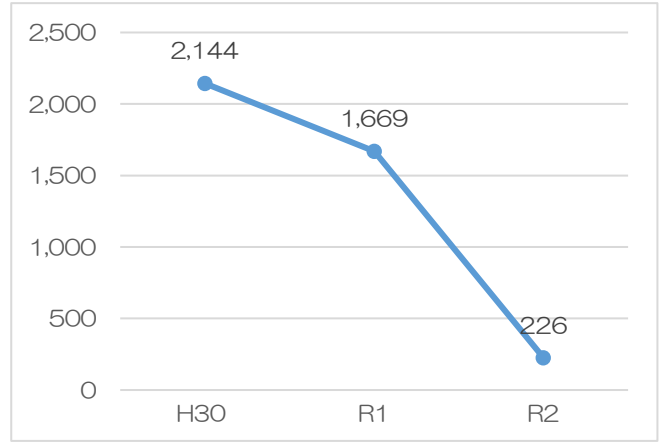
(7) 各種競技スポーツのレベルアップ

○参加者数推移(延べ数)



(8) プロスポーツとの交流

○参加者数推移(延べ数)



合計 28 件(再掲含む)

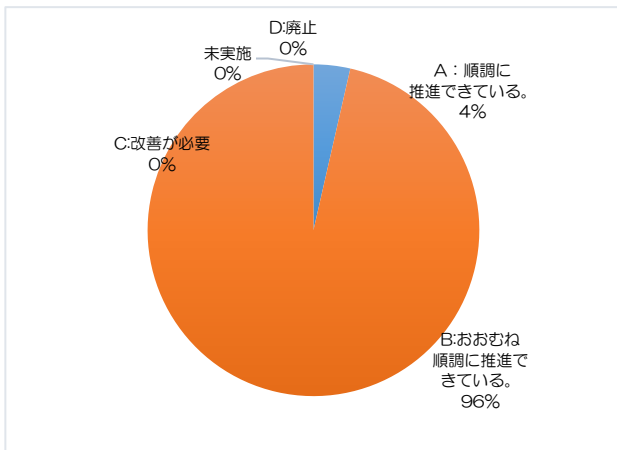
令和元年度

A.順調に推進 1件、B.概ね順調 27件、C.改善が必要 0件、D.廃止 0件、未実施 0件

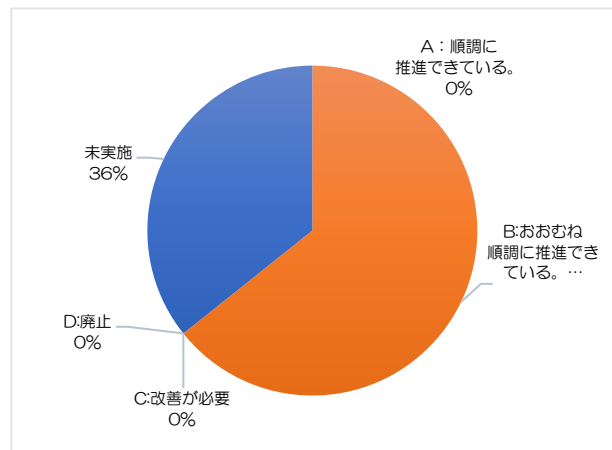
令和2年度

A.順調に推進 0件、B.概ね順調 18件、C.改善が必要 0件、D.廃止 0件、未実施 10件

令和元年度



令和2年度



【 主な事業内容 】

『A.順調』『B.概ね順調』(令和元年度 28件、令和2年度 18件)

- ・パナソニック・パンサーズジュニア&親子バレーボール体験教室
- ・インストラクター・ボランティア基礎養成講座フォローアップ研修
- ・枚方市立中学校部活動指導協力者派遣事業
- ・総合型地域スポーツクラブ活動支援 など

『未実施』(令和元年度 0件、令和2年度 10件)

- ・トップアスリートとのふれあい事業
- ・北河内地区駅伝競走大会
- ・枚方市駅伝競走大会
- ・大阪府市町村対抗駅伝競走大会 など

※ 『C.改善が必要』、『D.廃止』とされた事業はなし

◆取組課題4.まとめ

『順調または概ね順調に推進できている』とされた事業では、「パナソニック・パンサーズジュニア&親子バレーボール体験教室」などにおいて、新型コロナの状況を見極め、感染症対策を行なったうえで実施ができました。また、「インストラクター・ボランティア基礎養成講座フォローアップ研修」などでは、オンライン開催などを行うことで順調に実施することができています。

『未実施』とされた、「トップアスリートとのふれあい事業」「FCティアモとの連携協定」に基づくサッカー教室などは新型コロナの影響で中止となっています。

【 今後の取組方針における『改善・見直し』の主な事業 】

令和元年度	令和2年度
—	・広報媒体を通じた情報発信（改善・見直し）

● 広報誌を通じての情報発信が中心でしたが、様々なターゲット層に広く、迅速に情報を届けるため、SNSや動画等 ICT を活用した情報発信を強化する必要があります。

【 取組課題4. に関する取り巻く状況 】

本市の地元スポーツチームであるパナソニックパンサーズとFCティアモ枚方との連携を通じて、地域活性化につながるような取り組みを進めています。地元スポーツチーム以外にも、大相撲やプロボクシング、プロバスケットボールの試合を総合体育館で実施しています。

一人でも多くの方がスポーツに親しみ、生活の中にスポーツが取り込まれている社会の実現に向けて、本市のスポーツ振興の中心的な役割を担う重要なパートナーである枚方市スポーツ協会をはじめ、スポーツ推進委員やスポーツ少年団、民間企業など、様々な主体とより連携を深め、市民の多様な形でスポーツを提供することが求められています。

◎取組課題1から取組課題4のまとめ

令和元年度においては、大半の事業が概ね順調に推進しました。しかし、令和2年度において、新型コロナの影響を受け、各体育施設も1年間のうち約半年閉鎖していたこともあり、不特定多数が集まる事業や、障害者や高齢者を対象とした事業など、全事業のうち約3割の事業が未実施となりました。

スポーツに触れる機会が失われたことは、運動不足やストレスの増加など健康に影響を及ぼす結果となりましたが、一方でスポーツが、生活や社会に活力を与えるなど優れた効果を及ぼす重要な価値を持っていることを改めて認識することとなりました。

■おわりに

令和2年度にスポーツ振興課が教育委員会から市長部局の観光にぎわい部に移管したことにとともに、教育の枠を超え、スポーツを賑わい創出のコンテンツとするスポーツツーリズムの推進や2025年に開催される大阪・関西万博の機運醸成を踏まえたスポーツの取組など、市の関連施策と一体的に推進することで、その魅力をさらに発揮していきます。

また、令和4年度は、枚方市スポーツ推進計画の中間年度にあたることから、アンケート調査を実施し、これまでの取組状況について総括するとともに、施策の課題の洗い出しや改善点の検証を行ったうえで、後期に取り組みすべき施策を検討する予定です。